

令和5年度 第2回 大東市環境審議会 会議録

- 日 時 令和5年11月2日（木） 午前10時～12時
- 場 所 大東市立市民会館4階 大会議室
- 出席委員 花田会長、三ツ川副会長、玉置委員、北田委員、高橋委員、河村委員、
中原委員、木村委員、吉村委員、東野委員、赤田委員、
田村委員、葛城委員
※委員名簿掲載順
- 欠席委員 濱崎委員、花嶋委員
- 事務局 市民生活部長 木村 市民生活部総括次長 竹田
環境室 室長 藤原 課長 吉原
課長補佐 戸田、上村
上席主査 道木 主査 山崎
課員 田上
- 傍聴者 無し
- 当日次第
 - 1 開会
 - 2 議事
 - 議事1：大東市脱炭素戦略・大東市地球温暖化対策実行計画の策定について
 - 議事2：大東市環境の保全等の推進に関する条例の改正に係る継続審議について
 - 議事3：その他
 - 3 閉会
- 配布資料
 1. 会議次第
 2. 資料一覧
 3. 委員名簿
 4. 配席図
 5. 【資料1】大東市環境審議会規則
 6. 【資料2】大東市脱炭素戦略・地球温暖化対策実行計画素案
 7. 【資料3】大東市環境の保全等の推進に関する条例の改正

1 開会

2 議事

議事 1：大東市脱炭素戦略・大東市地球温暖化対策実行計画の策定について

<意見等>

| | |
|-----|---|
| 事務局 | 【資料 2】について説明。 |
| 委員 | 今回の審議会では、この素案についてどの程度まで審議すればよいか。 |
| 事務局 | 今回の素案をベースに、庁内で会議し、パブリックコメントを募集したい。そのため、完成形に近いところまでのご審議いただきたい。 |
| 委員 | <p>本日の資料 2 は、第 4 部事務事業編についての記載がないが、それでも内容が多い。概要版資料であるにもかかわらず内容が難しい。計画というものは、行政をはじめ、市民や事業者が何をしたらいいかということを知るようにすることが目的であるので、なぜ必要なのかということについて、わかりやすくする必要がある。</p> <p>例えば、資料 2 の 15 ページに年間日照時間の推移が記載されているが、全国と比較して、大東はどうであるかというだけで十分ではないか。2013 年からの日照時間や風況についてデータが記載されているが、その利用に期待できるかどうかということが伝われば十分である。</p> <p>丁寧に資料を作っているがために、何をすればいいのかという部分が理解しづらくなっている。</p> <p>アンケートについても、何をすればいいのかわからないという回答が多い。また、省エネ設備導入をやらない理由としてコストの問題が挙がっているが、例えば LED を導入する際の導入コストとランニングコストについて理解してもらえるようにしたり、そのための施策として、メタネーションのような新技術の応援や、今ある技術の利用を促進するといった方法があると考えられる。</p> <p>市民や事業者がこの計画を読んだときに、カーボンニュートラルの目標達成のためには、どうしていけばいいのかが伝わるようにしないとけない。</p> <p>今日の審議会の意見を計画に反映するとしても、この煮え切らない状態で庁内会議に上げて、パブリックコメントをしても、難しいのではないか。バックデータは必要であるが、もっと言いたいことだけを指し示すようにしないと、読んでもらえないのではないか。</p> <p>皆さんの意見はどうか。</p> |

| | |
|----|---|
| 委員 | <p>しっかりと情報を集め、整理されているという印象である。</p> <p>どこをどうすればいいのかということについて、概要版の後ろの部分には書かれているが、先ほどの意見のとおり、情報量が多いのでわかりづらくなっている部分もあるが、全体としてはよくできていると思う。</p> <p>細かい部分ではあるが、資料 8 ページに大阪府の地球温暖化対策実行計画についての記載があるが、9 ページのエネルギー目標値については、スマートエネルギープランからの引用となっている。スマートエネルギープランの説明が本文中に出てきていないので、できれば地球温暖化対策実行計画の話だけで完結できる方が望ましい。</p> <p>また、大阪府の実行計画では、省エネルギーと省資源を併せて進めていくと共に、単位エネルギー当たりの CO₂ 排出量を削減していくことを記載しているので、そういったことも追加してほしい。府の実行計画の 14 ページにそういったことを記載しているので、また確認してもらおうといいかと思う。</p> <p>そのため、市の実行計画の 8 ページの下から 2 行目の「2030 年度の削減目標は」の部分を、「こういったことを図り、2030 年度の削減目標は... 40%削減を目標としています。」というような文章にしてもらおうといいかと思う。また、大阪府の実行計画の 14 ページに、四角形がだんだんと小さくなっていくような図があるが、これを市の実行計画 9 ページのスマートエネルギープランの図の代わりに描いてもらえると、より大阪府の実行計画のイメージが湧くかと思う。</p> <p>また、13 ページからは大東市の自然環境について記載されており、大阪観測所のデータから引用されているが、この観測所は大手前にあるので、大阪市域のデータとなる。自然環境としては大東市もほぼほぼ変わらないと考えるが、誤解を招かないか心配している。大阪市域のデータから引用していることを明示したほうが、誤解の心配がいらないと考える。</p> <p>23 ページの乗合タクシーについても、2017 年度の利用者数が極端に少ないが、本文中では触れられていないので、そのことの説明もあるといいか考える。</p> <p>27 ページの電気使用量のデータについては、大東市が関電から独自にデータを貰っているとのことであるが、2015 年度以降はデータが貰えていないということでしょうか。</p> <p>電気の使用量を把握することは、地域の省エネルギーを把握するうえで非常に重要で、他市の温暖化対策会議でも同様の意見が出ている。府では、関西電力送配電へかけあい、府内の地域ごとの電気使用量のデ</p> |
|----|---|

| | |
|-----|--|
| | <p>ータを出してもらえることになっている。さかのぼってできるかどうかはわからないが、府を通じてデータを出してもらい、資料として管理しておく方が、経年変化が分かりやすく、住民へ見せた際にも、その頑張りが分かってもらえるので、検討をお願いしたい。</p> <p>50 ページの下の表で、2050 年度の基準年度比削減量が 107%で、100%を超えているものがある。下の注釈にあるとおり、再生可能エネルギー導入量を含んだ温室効果ガス排出量とあるので、家庭の太陽光発電が普及し、省エネが進み、逆にエネルギーを作り出しているのもともとの CO₂ 排出量以上に削減した結果かと思うが、削減率が 100%を超えるというのが違和感を感じる。注釈をつけたほうがいいかと思う。</p> <p>53 ページの見える化について、大阪府では、アプリを使って見える化できないかということを経験している。</p> <p>73 ページの上の図の見出しが、プラスチックとなっているが、プラスチックの誤字と考えられる。</p> <p>80 ページには環境推進リーダーの養成について記載がある。大東市は、大阪産業大学とのつながりが強く、大学生とよく連携することがあると思うが、計画の中には大学生との連携が書かれていない。シニア世代についての内容はあるが、これから環境推進に取り組んでいくような、若い世代である高校生や大学生を養成し、地域を活性化していくという概念で取り組んでもらうといいかと思う。</p> |
| 委員 | <p>アプリについて、万博 500 日目の清掃活動でもアプリを使用すると聞いている。</p> |
| 委員 | <p>今はいろいろなアプリが出てきており、どこで清掃活動をしたかといった記録もわかるようになっている。</p> |
| 委員 | <p>清掃活動でアプリが上手く機能したら、万博でも使用したいという話があるようである。</p> <p>アプリについては、是非活用してほしいと思う。</p> <p>大学との協定の話があったが、大東市と大学は、シニア大学だけでなく、総合的な協定は締結しているのか。既にいろいろなところで連携しているし、学生とワークショップをすると面白い意見が出てくるので、この計画と直接関係があるわけではないが、そういったこともあることを申し上げておく。</p> <p>計画の概要版を改めて作ってもらえるのか。</p> |
| 事務局 | <p>説明不足で申し訳ないが、本日の配布した概要版については、本日の配布資料の概要版として作ったものであり、市民や事業者向けの概要版については、別途作成予定である。</p> |

| | |
|-----|--|
| 委員 | <p>そのときに、取り組みやすい感じや大東らしさなどが、一目でわかるような資料にしてもらいたいと思う。</p> <p>他に意見はないか。</p> |
| 委員 | <p>先ほどにも話には出ていたが、せっかく現在の実行計画を策定するのに、例えば 19 ページの住宅数のグラフは平成 30 年のデータで止まってしまっており、27 ページのグラフについても過去のデータしかない。これでは、過去の状況はわかるが、今はどうであるのかということが気になって、せっかくデータを調べたのに、もったいない気がする。</p> <p>また、52 ページからアンケートの結果が記載されているが、いきなりアンケートの結果が記載されている。どこまでアンケートの結果を出せるのかということもあるかと思うが、いつどのように実施したのかといったことがある程度書かれている方が、読んだときに把握しやすいように感じる。</p> |
| 委員 | <p>この指摘についての意見はどうであるか。</p> |
| 事務局 | <p>1 点目のデータが古いことについて、昨今はデータの公表がなされていないところもあり、そういったものについては古いデータになってしまっているのが実情であるが、公表されているものの中では最新のデータであるものとして対応している。</p> <p>2 点目のアンケートについて、対応については検討するが、本日配布している資料編で、アンケートの調査結果について具体的にまとめている。資料編の 2 ページには、アンケート対象や調査方法等を記載している。</p> |
| 委員 | <p>本文中に、「市民や事業者の方へアンケートを行いました。詳細については、資料編をご覧ください。」といった記述があるといいかと思う。</p> <p>他に意見は無いか。</p> |
| 委員 | <p>同じ意見であるが、この資料が届いたときに、量の多さに驚いた。内容を読んでみると、何をしないといけないのかを理解することが難しく、パブリックコメントをしても、市民が理解するのは難しいと思う。</p> <p>アンケート結果を見たが、踏み込んだ意見の人が少ないと感じた。LED にすると、2、3 年で採算が取れるといったことも書いてあるといいと思う。環境に対する取り組みをやると、こんないいことがあるといった、取り組む方向に向くような、誘導できるような書き方をするといいと思う。</p> |
| 委員 | <p>概要版では、取り組みをやってみようかとなるように作成をお願いしたい。</p> |
| 委員 | <p>実施計画という事であるが、どこに計画が書かれているのかという</p> |

| | |
|----|---|
| | <p>印象を受けた。データとしてはしっかりとまとめられているが、何をしたらいいのかというところがわからないので、それを表に出したような概要版としてほしい。</p> <p>温暖化については、様々に意見があるとは思いますが、待ったなしの状況で、何か取り組みをしないといけないという意識は皆さん持っていると思う。それに対して、何かヒントや答えになるようなものを計画として出せたらなと思う。</p> |
| 委員 | 他に意見はないか。 |
| 委員 | <p>実行計画は、行政がこういうことをしていくというものを記載したものであり、市民さんにはこういうことをお願いしますというものをわかりやすくしたものでもある。64 ページにはそういったことが具体的に書かれてはいるが、主語が市のところと市民・事業者のところと混在している。これが、誰が何をしたらいいのかわかりにくくしている原因の 1 つであると思うので、上下段に分けるなどした方がいいかと思う。</p> |
| 委員 | <p>64 ページには今後の取り組みの記載があるが、ここにたどり着かないと内容がわからない。</p> <p>バックデータを求められることもあるので、難しい部分ではあるが、グラフは必要ないかもしれない。伝えたいことだけを伝えるようにしてもらおうといいかと思う。</p> |
| 委員 | <p>心理学の視点からの意見であるが、市民に対するアンケートについて、取り組みの効果がわからないという回答が一定あるということは、これをわかってもらえるようにすることが必要ではないか。</p> <p>基準年度が 2013 年度で、現状は 2020 年度となっているが、データを比較したときに、温室効果ガス排出量が減っている。これは市民の人が頑張った結果であるので、そこを示すことで、これだけ頑張れているのだということが伝わり、次の行動につながるのではないか。また、技術革新によっても排出量が減少することも示せるといいかと思う。</p> <p>また、セグメントしていないのも問題と思う。市民からすれば、世代毎によって取組めることが違うはずである。大学生だったらこういうことができる。これから家を建てる人だったらこういうことができる。そういった書き方にすると、世代に合った切り口を示せるし、すぐにわかってもらえる。</p> |
| 委員 | 他の委員から意見が出たが、36 ページにおいて、部門ごとに分けて書いてあるが、伝わりにくく、残念である |

| | |
|----|--|
| | <p>ZEHの話についても、これだけZEHが進むと、このくらい排出量を減らせるということを示せると、家を改装をするときにそういった観点を取り入れようとなってもらえると思う。</p> <p>今までやってきたことのフィードバックをしっかりと示してもらえると、次の取組みに繋がっていくと思う。</p> |
| 委員 | <p>テレビを見たら電気を使う、つまりCO₂を排出しているということは、意識すればわかることであるが、市民の立場として、普段生活していく中で何をしてCO₂を排出しているのかという意識がどれだけあるのかが疑問である。最先端の電化製品を使うと、省エネやCO₂排出削減につながるということを示してくれると一番いいと思う。</p> <p>ただ、呼吸するだけでもCO₂は排出しており、10回呼吸するところを8回に我慢するのかということもあるが、自分でできることとしては、社会の行動に従うことと考えている。</p> <p>また、CO₂が第1に温暖化の原因であるということについても、疑問を抱いている。人間や家畜の数が増えているが、それらの体温は温暖化に影響していないのか。ビルやコンクリートの数も増えたが、その影響はないのか。温暖化の影響はCO₂だけではないという新しい発想も入れてもらいたい。</p> <p>具体的な話でいえば、省エネ家電の発達によって、おじいちゃんの世代が子どもの頃の消費エネルギーと孫の世代の消費エネルギーの違いを示した方が分かりやすい。具体的に何をしていったらいいのかが問われているので、具体的な説明とした方が分かりやすい。</p> |
| 委員 | <p>人間の数自体の温暖化への影響は小さいようである。温室効果ガスの濃度が濃くなっており、地球の平均気温が上がっていることに関連があると考えられている。そして、CO₂は発電時に多く排出されることもわかっている。</p> <p>問題なのは、人間の数ではなく、人間の生活の仕方と言われている。テレビ単体の省エネが進んできていることもあるが、昔は1家に1台であったのに対して、今は1家に複数のテレビがあり、数が増えてきている。また、昔にはなかったようなノートパソコンやスマホといった電化製品も増えてきている。そういったことを見直そうと呼びかけるのが、この実行計画であると考えている。</p> <p>将来のことはわからないので、結果的に対策しなくてもよくなったとなるかもしれないし、やったことで、温暖化が大幅に食い止められたとなったら万歳である。どちらにせよ、将来大変なことになるリスクがあるのであれば、対策をした方がいいので、今できることをしようというのがこの計画である。</p> |

| | |
|-----|---|
| | そのことを意識していない人が多いので、この計画をきっかけに温暖化対策について意識してもらえたらいいなと思う |
| 委員 | <p>この計画を誰のために策定するのかということを考えたときに、市としては、第1に市民のために策定するものであると考える。なので、市民が理解できるような計画にしてほしい。</p> <p>また、車の話でいうと、日本以外はEVが主流になっている。日本だけが遅れている現状である。ただ、EVを動かすためには電気が必要であり、その電気を発電するためにはCO₂を排出することになる。それでも、世界的には、EVにした方がCO₂排出量はかなり減少すると考えられているのだろうと思う。</p> <p>計画中に、市民にどういう行動をとってほしいのかがわかるようにしてほしい。EVを買ってほしいのであればそう言ってほしいし、それに伴って対応する充電設備を作ってほしい。市としてこういう方向で考えているので、市民の皆さんもこういう方向で考えてほしいということを、計画にはっきりと書いてほしい。</p> |
| 委員 | 市としては、EVに対してどう考えているのか。 |
| 事務局 | 市としては、EV導入は有効かと考えるが、現状では充電設備が庁舎にない。新たに設備を導入するとしても、庁舎建て替えの問題もあるため、なかなか実行するには至っていない。 |
| 委員 | <p>公用車を買替えるときにEVにすることは可能かと考える。</p> <p>また、EVが本当にいいのかという意見もあったが、どのような方法で発電された電気を燃料として使用するかということに寄ると考えられる。各家で太陽光発電をし、それを蓄電し、EVに充電できれば素晴らしいと思う。</p> <p>小学校で、大学生が環境教育をする機会があって、その時にEVの話が出た。すると小学生から、EVがいいとは限らないという発言が出た。単に話を鵜呑みにしているわけではなく、とても驚かされた。何を言いたいかという、もう少し計画をわかりやすい内容でお願いしたい。</p> <p>庁内の会議はいつあるのか。</p> |
| 事務局 | 11月15日の予定である。 |
| 委員 | 時間の関係もあるので、もし他に意見があれば、今週中くらいに事務局へ連絡してほしい。そこから、会議資料を作成していただきたい。わかりやすい資料となるようお願いしたい。 |

議事 2：大東市環境の保全等の推進に関する条例の改正に係る継続審議について
<意見等>

| | |
|-----|---|
| 事務局 | 【資料 3】について説明。 |
| 委員 | 前回からの継続審議という事である。 規制の内容としては、地盤が同じである東大阪市に準ずるということで、何か意見はないか。 |
| 委員 | 【意見なし】 |

議事 3：その他
<意見等>

| | |
|-----|---|
| 事務局 | <p>追加でお配りした資料で、ペットボトル・プラスチック製容器包装の戸別収集について説明する。</p> <p>前回の審議会後に、ペットボトルの水平リサイクルに関する協定を、民間事業者、東大阪都市清掃施設組合、東大阪市と連名で締結した。</p> <p>今までは、決まった曜日に、ペットボトルとプラスチック製容器包装を同じ袋で収集してきた。来年の 4 月からは、その曜日はプラスチック製容器のみの回収とし、新たにペットボトルのみを収集する曜日を追加する。</p> <p>12 月の広報紙で、来年 4 月から始まることを市民向けに周知し、来年 3 月の広報紙やごみ収集カレンダーで、詳細を周知していく予定である。</p> |
| 委員 | <p>水平リサイクルについては、キレイにしてゴミ出しをすることが大前提であるので、市民への周知を委員の皆さんにもお願いしたい。</p> <p>水平リサイクルもいいことではあるが、リサイクルをすればいいというわけではなく、根本はごみを減らすということが重要であるので、そのあたりの取組みも今後併せてお願いしたい。</p> |
| 事務局 | <p>もう 1 点だけ、7 月から実施している粗大ごみ有料化についての報告があるが、時間の関係もあるので、次回の 12 月審議会にて報告させていただく。</p> |

3 閉会

以上